



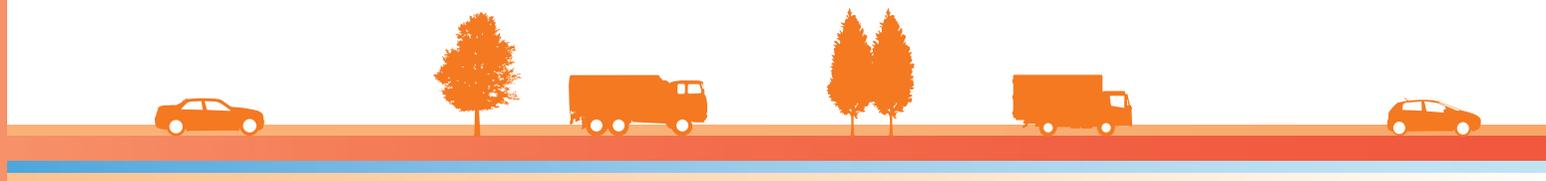
車社会に 夢・豊かさ・安心を



第44期 第2四半期累計

# 株主通信

2014年4月1日 ▶▶▶ 2014年9月30日



 **キムラユニティ株式会社**

証券コード：9368



株主の皆様へ

## 5期連続の増収となるも、 将来を見据えた先行投資の影響により減益に

代表取締役社長 **木村幸夫**

株主の皆様におかれましては、平素よりご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

第44期第2四半期累計期間（2014年4月1日から2014年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

さて、当期を振り返りますと、4月の消費税増税による駆け込み需要の反動や天候不順の悪影響から個人消費の持ち直しが鈍く、回復の度合いにばらつきが見られたものの、雇用情勢等の改善や政府の各種経済政策を背景に全般的には景気は持ち直しつつある一方で、新興国の景気減速や米国の金融政策、欧州等の地政学リスクの高まり等もあり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。また、私共キムラユニティグループと関わりの深い自動車業界では、国内における消費税増税の影響もあり、生産・販売ともに弱含みで推移しました。

このような環境下、当社グループにおきましては、物流サービス事業では、国内の新規事業所の開設、

海外では北米子会社での物流業務の本格稼働に加え、中国子会社の順調な業容拡大、自動車サービス事業では、昨年12月に子会社化した軽自動車専門販売会社株式会社スーパージャンボの連結及び新規出店等、更には全社を挙げた患直な収益改善活動の展開等に取り組んでまいりました。

その結果、当期の連結業績は、売上高は5期連続の増収、過去最高を確保することができました。利益面は、大きく増益となりました昨年度に比べ2012年3月期の中間決算以来3期ぶりの減益となりました。消費税増税の影響や今中間期に集中した国内外の新規拠点の立上げ、子会社での多店舗展開等による費用の発生等、将来を見据えた先行投資の影響によるものであります。詳細につきましては、当通信をご高覧いただき、ご理解を賜りたく存じます。

尚、配当金につきましては、当社グループは株主の皆様に対する利益還元を経営における重要な課題の一つとしており、継続的な安定配当の実施を基本

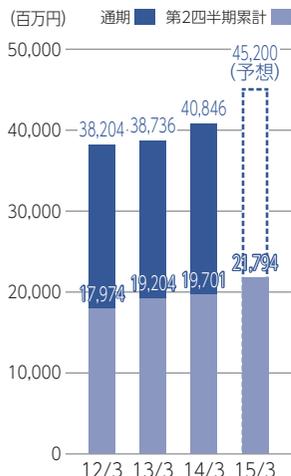
としつつ、業績及び配当性向を総合的に勘案して、配当政策を決定しております。経営環境は依然として厳しく、先行き不透明ではありますが、この基本方針に基づき、前期末に実施した過去最高益を達成したことによる特別配当金3円を普通配当に組み入れ、中間配当金を1株当たり12円とし、年間配当金を前期末同様の1株当たり25円とする予定でございます。

今後も引き続き、「意識」「行動」「技術」の改革でステークホルダー（利害関係者）の皆様とともに、着実・確実・誠実に発展し続けるグループを目指し、グループの総力を挙げて更なる進化に挑戦してまいります。

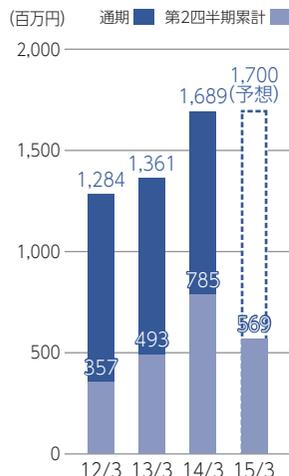
株主の皆様におかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

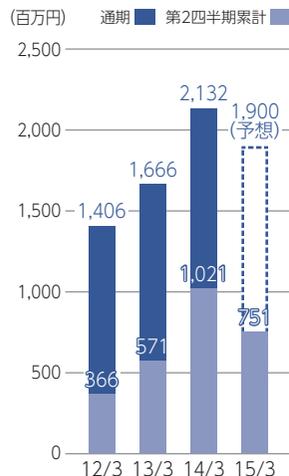
### 売上高



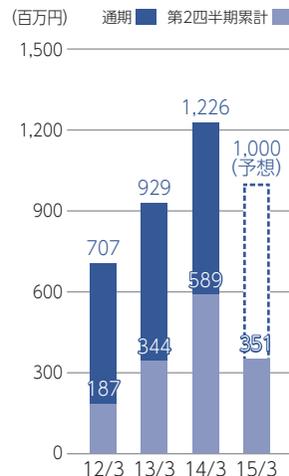
### 営業利益



### 経常利益



### 四半期(当期)純利益



### 営業の概況

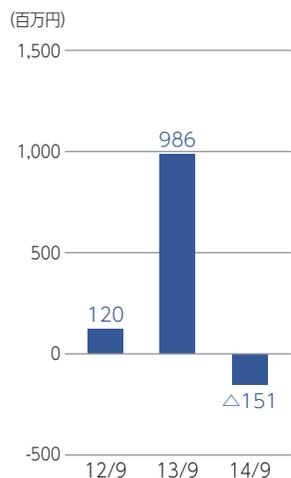
#### 当期の概況

売上高は、物流サービス事業において国内外での職域が拡大したことや、自動車サービス事業において昨年子会社化した株式会社スーパージャンボの連結効果等により217億94百万円（前年同期比10.6%増収）、5期連続の増収、連結業績として過去最高となりました。営業利益は中間期に集中した国内外での新規事業所の立上げ及び子会社での多店舗展開等によるコスト増、人件費の増加等により5億69百万円（同27.5%の減益）、経常利益は営業利益の減益と為替差益の減少等により7億51百万円（同26.4%の減益）、四半期純利益は経常利益の減益に加え社員寮の売却損の計上等により3億51百万円（同40.4%の減益）となりました。このように利益面では、消費税増税による物量の減少やコストの増加を吸収できず、3期ぶりの減益となりました。

#### 通期の予想

国内では消費税増税後の景気停滞から緩やかに回復すると予想するも、海外では新興国の景気減速や米国の金融政策、欧州等における地政学リスクの高まり等、依然として事業を取り巻く環境は先行き不透明な状況が続くと思われます。このような状況の中、当社グループは、グループの力を結集し、「収益改善活動」の徹底推進や新規拠点の早期安定化に向けての体制整備並びに株式会社スーパージャンボとの相乗効果の早期発現に向けて取り組んでまいります。通期の見通しにつきましては、売上高は452億円（前期比10.7%増収）、5期連続の増収で連結業績として過去最高を予想しております。営業利益は17億円（同0.6%増益）と過去最高を予想するものの、経常利益は為替差益の計上を見込まないことから19億円（同10.9%減益）、当期純利益は10億円（同18.5%減益）を予想しております。

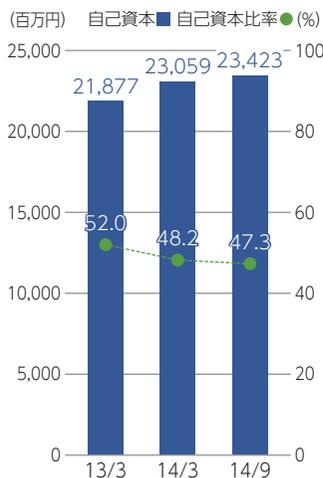
### 営業活動による キャッシュ・フロー



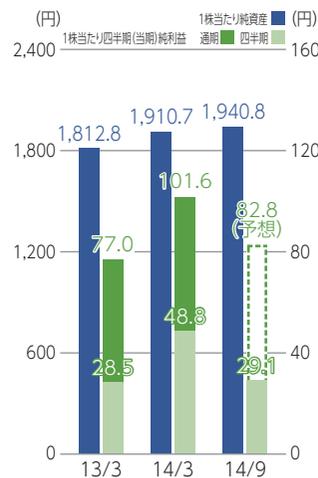
### 設備投資



### 自己資本/ 自己資本比率



### 1株当たり純資産/ 1株当たり四半期(当期)純利益



# キムラユニティの事業概要

## 物流サービス事業

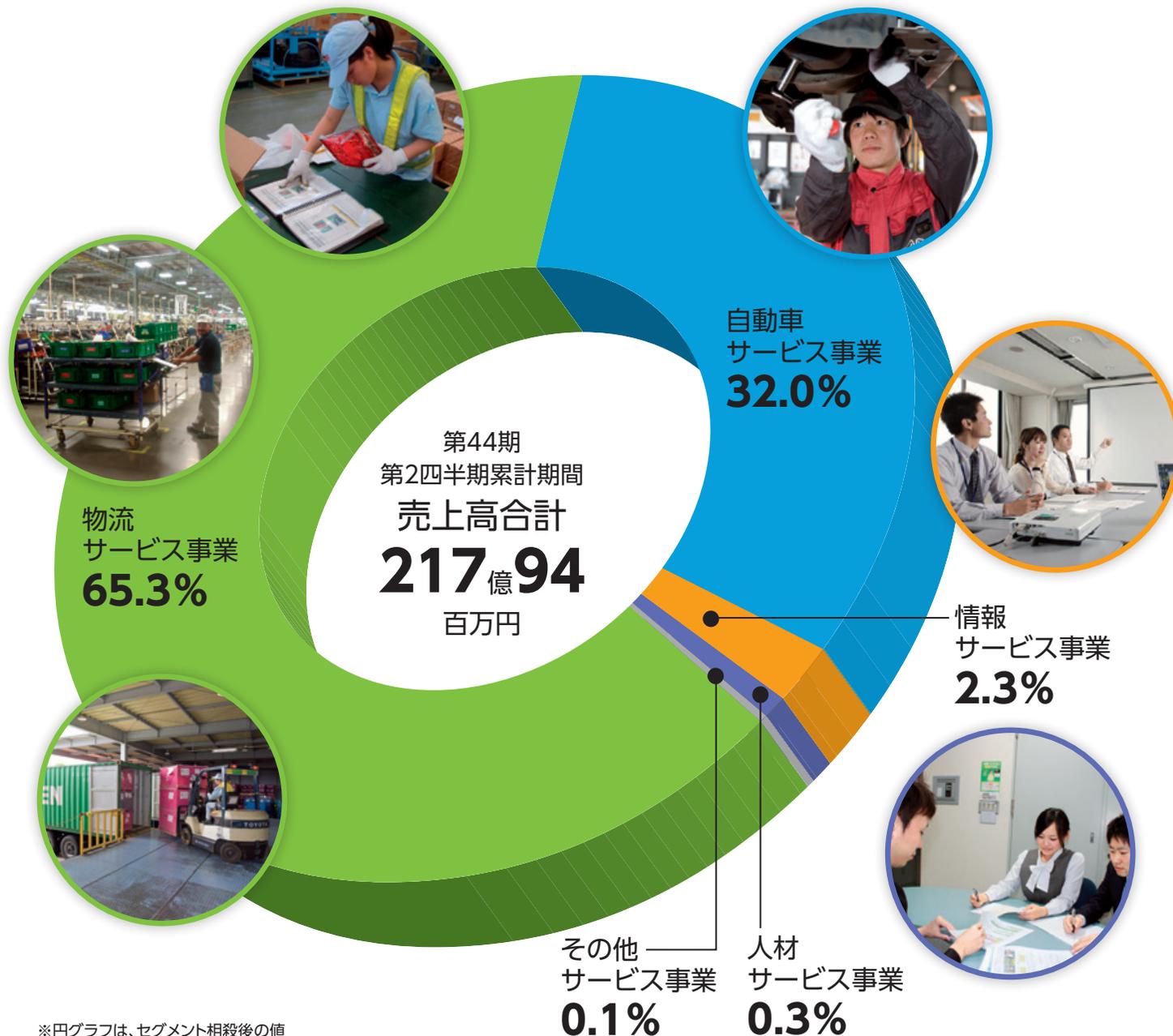
安全、品質、コスト、リードタイム…  
物流の最適化をご提供

### セグメント売上高推移



### 当第2四半期累計期間の概況

中国子会社の増収、NLS(ニューロジスティクスサービス)分野で北米子会社での物流作業の本格開始や国内での新規作業の受注に加え、円安による為替変動の押し上げ効果もあり、売上高は142億27百万円(前年同期比5.1%増収)となりました。営業利益は、収益改善活動に全力で取り組んでまいりましたが、消費税増税の影響による物量の減少に伴う収益悪化や人材不足による人件費の上昇及び新規事業所での生産準備等によるコストの増加等により、6億19百万円(同36.0%減益)となりました。

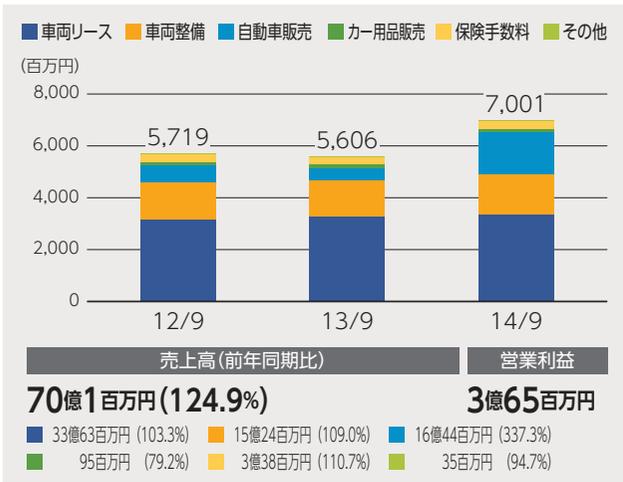


※円グラフは、セグメント相殺後の値

## 自動車サービス事業

企業へ、個人へ、クルマの総合的な  
管理サービスをご提案

### セグメント売上高推移



### 当第2四半期累計期間の概況

軽自動車専門販売会社株式会社スーパージャンボの連結効果、リース契約台数の増加によるリースの増収等により、売上高は70億1百万円(前年同期比24.9%増収)となりました。営業利益は、増収効果と自動車整備事業を中心とした収益改善活動の効果が寄与したこと等により、3億65百万円(同40.2%増益)となりました。

## 情報サービス事業

高度な業務ノウハウとIT技術で、  
物流ビジネスへのご提案

### セグメント売上高推移



### 当第2四半期累計期間の概況

企業のシステム投資抑制の影響を受ける中、積極的な拡販活動を展開したこと等により、売上高は、4億95百万円(前年同期比12.5%増収)となりました。営業利益は、売上高の増収等により、30百万円(同0.9%増益)となりました。

## その他サービス事業

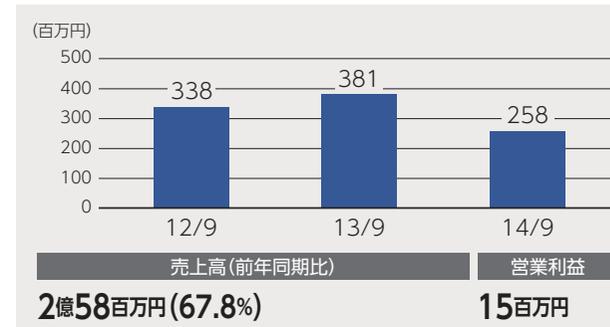
### 当第2四半期累計期間の概況

太陽光発電による売電事業により、売上高は29百万円(前年同期比8.6%増収)となりました。営業利益は、12百万円(同7.1%減益)となりました。

## 人材サービス事業

企業を支える  
人材ニーズをご支援

### セグメント売上高推移



### 当第2四半期累計期間の概況

人材不足の影響等により、売上高は、2億58百万円(前年同期比32.2%減収)となりました。営業利益は、売上高の減収から、15百万円(同39.8%減益)となりました。

## 印西事業所【千葉県】の開設 (2014年4月)

株式会社スズケン様の物流を担当する株式会社スズケンロジコム(現 株式会社エス・ディ・ロジ)様が運営される物流センター業務のうちの庫内物流業務を受託し、事業所を開設いたしました。

当事業所は、埼玉県、兵庫県に続く当社として3つ目の医薬品物流拠点となります。

### 事業所の概要

所在地 千葉県印西市

事業内容 物流センターの庫内物流業務

従業員数 約300名



## CSR(企業の社会的責任)の取り組み

地元警察署主催の防犯キャンペーンの協力や、交通安全啓蒙活動の一環である「ふれあい交通安全博2014」に協賛等しております。

車社会に関わる企業として今後も積極的に交通安全活動に取り組んでまいります。



株式会社スーパージャンボ中川本店において地元警察署主催の防犯キャンペーン(2014年4月)



「ふれあい交通安全博2014」に協賛(2014年9月 於:あいち自動車学校)

## スーパージャンボ稲沢店新規オープン (2014年4月)

「株主通信」前号(2014年3月)にてご紹介のとおり、日本最大級の軽自動車専門販売店である「スーパージャンボ」の新しい店舗を当社自動車サービスの拠点であるオートプラザラビット稲沢本店内に開設いたしました。

オープニング式典では開店宣言や第1号のお客様との契約式等が行われ、同時に開催したオープニングイベントには、約4,000名のお客様にご来場いただきました。

### スーパージャンボ稲沢店 in オートプラザラビットの店舗について

日本最大級の軽自動車専門販売会社 株式会社スーパージャンボの2号店です。軽自動車の展示・在庫車両台数は約100台あり、隣接するオートプラザラビット稲沢本店は、45基のピットを有する整備・钣金工場とカー用品販売を組み合わせたカーメンテナンスショップとして展開しております。

両店舗により地域の皆様に車両販売・車両整備・保険・カー用品販売などの総合的なカーライフをサポートする商品・サービスの提供をしております。



スーパージャンボホームページはこちら  
<http://www.superjumbo.co.jp/index.html#section1>  
 スタッフによるブログも掲載しておりますので是非ご覧ください。

## 北米子会社における新倉庫稼働 (2014年7月)

「株主通信」前号(2014年3月)にてご紹介しました物流新倉庫が、2014年7月に完成し、オープニングセレモニーが盛大に執り行われました。

式典は、完成した倉庫の中で、ニッキー・ヘイリー氏(サウスカロライナ州知事)をはじめ、地元議会議員や取引先等より多数の方々にご列席頂きました。

式典の様子は、地元の新聞やテレビニュースでも大きく取り上げられました。

オープニングセレモニーの様子



## 新倉庫の概要について

新倉庫の規模は、敷地面積32万㎡、倉庫面積2万㎡で、カナダの大手自動車部品メーカーであるMAGNAグループのDRIVE社様のプレス部品を保管しております。

DRIVE社様の顧客であるBMW・フォルクスワーゲン・クライスラーといった自動車メーカーへ、24時間体制で出荷しております。



株主アンケートにて掲載のご要望を多数いただいております「社員についての考え方や取り組み」について、一部ではございますがご紹介いたします。

## 当社グループのCSR(企業の社会的責任)の考え方

当社グループは、着実・確実・誠実に発展し続けるグループを目指して、「経営理念」「経営姿勢」を実践することをCSR(企業の社会的責任)の根幹としております。

### 【経営理念】

会社はお客様のためにあり、社員とともに会社は栄える。

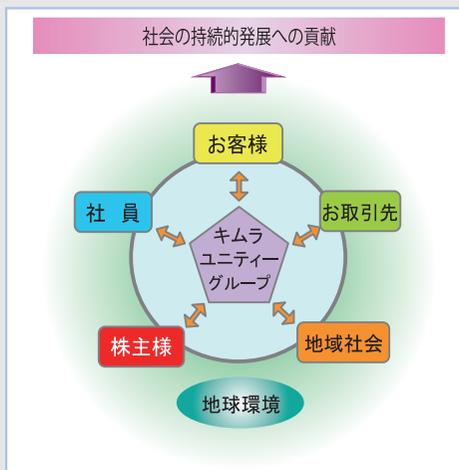
### 【経営姿勢】

1. 顧客価値の実現
2. 収益基盤の強化
3. 人と組織の活力の向上
4. 環境との調和と社会的責任の履行

当社グループのCSR(企業の社会的責任)の活動内容については、年1回定期的にCSRレポートを発刊しています。

又、当社ホームページに掲載しております。

<http://www.kimura-unity.co.jp/guidance/csr.html>



社員については、大切な宝という認識のもと、企業倫理規範においても「社員の人格、個性を尊重し、自主性・創造性に溢れた職場環境を実現する」としてあります。安全・健康な職場づくり、個人と組織能力の向上にむけた人財育成や多様性への取り組みなど、様々な活動を展開しております。

## 安全・健康な職場づくり

「ルールを守る人づくり・職場づくり」の推進と「相互啓発型安全文化・組織風土づくり」への進化で、職場の第一線まで意識の向上を図るため、各種の安全・健康活動を行っています。

例) 定期的かつ継続的なトップ点検を通じて、様々な職場活動における改善事例を現地現物で確認し、明るく元気な現場力・職場力の強化につなげることで、安全・コンプライアンス・品質・生産性(原価低減)意識の高揚を図っています。

トップ点検の様子



## 個人と組織能力の向上

社員一人ひとりが達成感を得ながら、グローバルに通用するプロフェッショナルな人財を育成するため、職種・階層ごとに教育研修制度の充実を図っております。

心身ともに健康でいきいきと働くことができるよう、「社員の健康管理と職場環境の整備」の制度を導入しております。

社員研修の様子



株主アンケートにて掲載のご要望をいただいている「社員の声」を一部ご紹介いたします。今回は、入社2年目の社員に当社グループで働くことについてどのように感じているのかインタビューしました。

## 物流サービス事業本部

- Q** 現在、担当している仕事を教えてください

**A** 自動車を作る為のボルトなどの部品を梱包し、モジュールという大きな箱に詰め、海外の工場に送る工程の内、モジュールに詰め込む作業を担当しています。
- Q** 仕事をしていて「一番うれしかったこと」はどのようなことですか

**A** 創意工夫提案という現場のやりにくい作業や悪い所を見つけ、自分で改善する活動がありますが、自分の改善で、より良い職場づくりに貢献できることにやりがいを感じています。
- Q** 今後の目標や抱負を教えてください

**A** 今は作業する立場なのですが、上司や先輩方を見習って現場をまとめたり、指導することのできる人財になれるようにがんばります。

## 自動車サービス事業本部

- Q** 現在、担当している仕事を教えてください

**A** 色々な会社の総務様に代わって社用車の管理業務を請け負っています。私の担当業務は、お客様の車両情報を「TCSWEB」というシステムに入力する業務とETC・給油カードの手配をさせていただいております。
- Q** 仕事をしていて「一番うれしかったこと」はどのようなことですか

**A** 初めて車両情報入力の業務を行った時、自分の入力したものがそのままシステムに反映され、お客様に見ていただけると知り、今までそんな経験をしたことがなかったため、責任も伴いますが、やりがいとうれしさを感じました。
- Q** 今後の目標や抱負を教えてください

**A** 今後は、早く一人前になって自分の担当のお客様を持ちたいです。また、仕事と両立して趣味も充実させていきたいです。海外旅行が好きなので、もっともっと色々な国に行けたらいいなと思っています。

## 情報サービス事業部

- Q** 現在、担当している仕事を教えてください

**A** 業務で使用するPCのセットアップやトラブル時の対応を行っています。通信機器やファイルサーバ等の設定や設置・撤去、配線工事の立会い、ネットワークレイアウト変更の対応を行うこともあります。
- Q** 仕事をしていて「一番うれしかったこと」はどのようなことですか

**A** PCのトラブル対応やネットワーク関連の業務を自分で解決できた時、知識や技術が向上しているのを日々実感できることが、一番うれしくやりがいを感じています。
- Q** 今後の目標や抱負を教えてください

**A** 徐々にネットワーク関連業務も任せて頂けるようになってきたので、サーバや社内ネットワークの構築や運用・保守を管理者として任せて頂けるように知識と経験を積んでいきたいと思っております。

## 管理本部

- Q** 現在、担当している仕事を教えてください

**A** 給与計算業務を主に行っています。月に2回計算日があり、それ以外の日はスケジュールをもとに各種申請書を処理して計算日に備えたり、社員の皆様や所属長の方々からの給与に関する問い合わせに対応しています。
- Q** 仕事をしていて「一番うれしかったこと」はどのようなことですか

**A** 毎月の給与支給日に自分の口座に正しく給与が振り込まれているのを見ると、今月も無事やりきったという達成感を感じます。
- Q** 今後の目標や抱負を教えてください

**A** 給与計算はミスがなくてあたりまえという仕事なので、あたりまえのことがあたりまえであり続けることができるよう、自分の中で努力を続けたいです。

## 会社と社員を双方向でつなぐ社内報

当社グループでは、会社と社員をつなぐものとして社内報「やくしん」を発刊しております。創刊は、1964年10月であり、50年の歴史があります。これまで第487号まで発刊しています。創刊から今日まで様々な社員等が携わっており、単に会社の出来事を書き記すのではなく、その時々話題等を提供し、働く人々の日常や喜び等を共有する会社と社員の双方向のコミュニティー誌です。



# 連結財務諸表(第2四半期累計)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減
売上高	197億1百万円	<b>217億94百万円</b>	20億92百万円
営業利益	7億85百万円	<b>5億69百万円</b>	△2億16百万円
経常利益	10億21百万円	<b>7億51百万円</b>	△2億70百万円
四半期純利益	5億89百万円	<b>3億51百万円</b>	△2億37百万円
1株当たり四半期純利益	48円83銭	<b>29円13銭</b>	△19円70銭

売上高は前年同期比 **10.6%増**

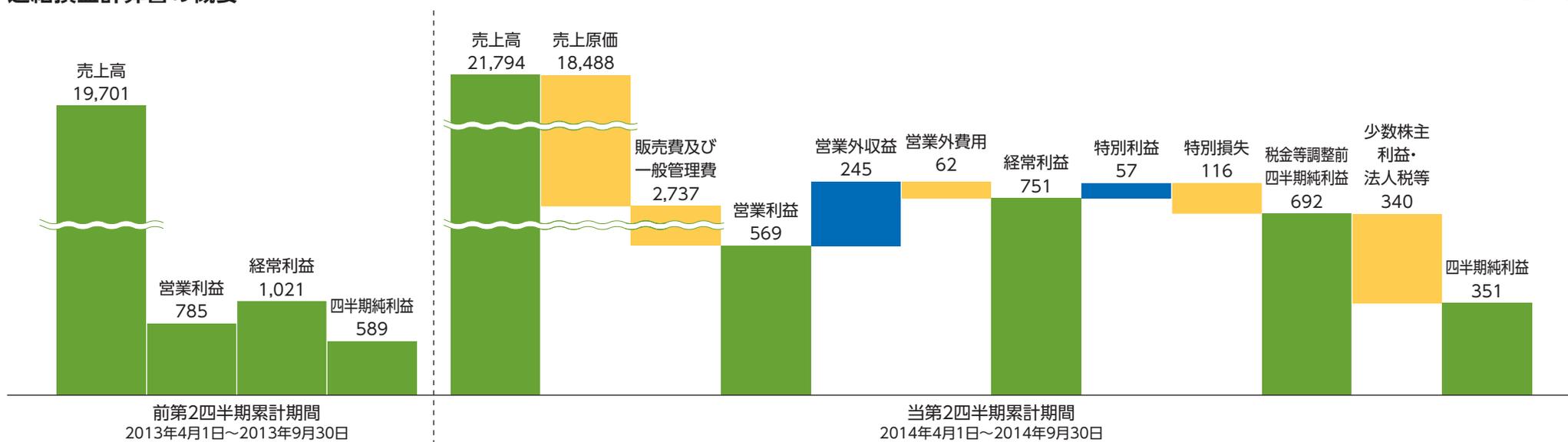
営業利益は同 **27.5%減**

経常利益は同 **26.4%減**

四半期純利益は同 **40.4%減**

## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



## 連結貸借対照表の概要

## 『資産の状況』

前 2014年3月31日現在		当第2四半期会計期間末 2014年9月30日現在	
(単位:百万円)			
<b>資産合計</b> 47,873		<b>資産合計 (Point 1)</b> 49,469	
有形固定資産 17,170	流動資産合計 21,320	流動資産合計 22,312	有形固定資産 17,781
無形固定資産 1,501	固定資産合計 26,553	固定資産合計 27,157	無形固定資産 1,477
投資その他の資産 7,880		投資その他の資産 7,898	

## 『負債・純資産の状況』

前 2014年3月31日現在		当第2四半期会計期間末 2014年9月30日現在	
(単位:百万円)			
<b>負債・純資産合計</b> 47,873		<b>負債・純資産合計 (Point 2、3)</b> 49,469	
流動負債 10,870	負債合計 24,136	流動負債 10,999	流動負債 10,999
固定負債 13,265	純資産合計 23,737	固定負債 14,286	固定負債 14,286

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (Point)

2014年4月1日現在		当第2四半期累計期間 2014年4月1日～2014年9月30日		2014年9月30日現在	
(単位:百万円)					
現金及び 現金同等物の 期首残高 4,359		現金及び 現金同等物に 係る換算差額 3		現金及び 現金同等物の 期末残高 4,466	
		営業活動による キャッシュ・フロー △151			
		投資活動による キャッシュ・フロー △887			
		財務活動による キャッシュ・フロー 1,142			

## Point 1 資産合計

流動資産が受取手形及び売掛金やリース投資資産等の増加、また固定資産が愛知県稲沢市にある当社拠点の再開工事や北米子会社での物流倉庫建設内金により増加したこと等から、総資産は前期比15億95百万円増加の494億69百万円となりました。

## Point 2 負債合計

固定負債が設備投資資金等の調達により長期借入金が増加したこと等により、負債合計は、前期比11億50百万円増加の252億86百万円となりました。

## Point 3 純資産合計

利益の計上と投資有価証券の時価の上昇に伴うその他有価証券評価差額金の増加等により前期比4億45百万円増加の241億82百万円となりました。これにより自己資本比率は、前期末に比べ0.8ポイント低下の47.3%となりました。

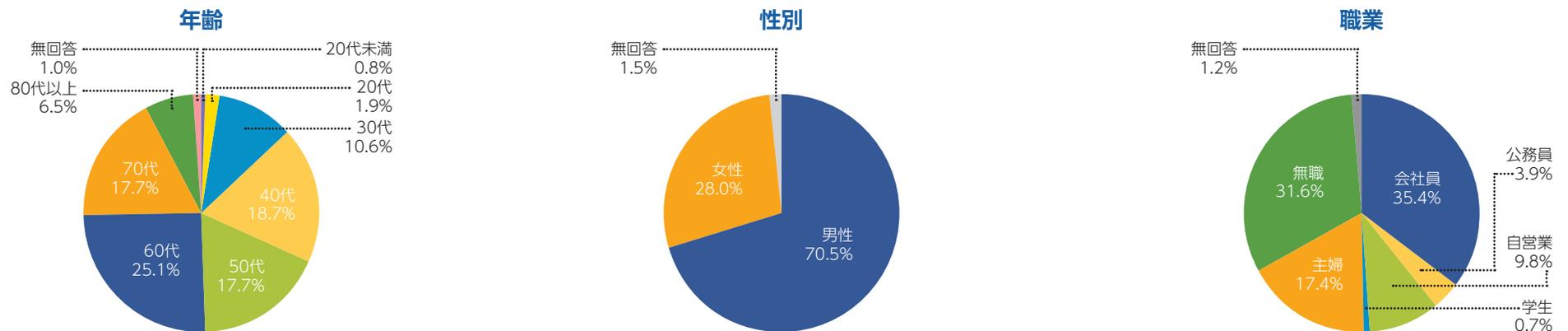
## Point キャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が減少し、売上債権の増減額の増加と長期未払金の増減額が減少したこと等から1億51百万円の支出となりました。これに、投資活動に支出した8億87百万円及び財務活動により得られた11億42百万円等を加えた結果、現金及び現金同等物の残高は、期首に比べ1億6百万円増加し、44億66百万円となりました。

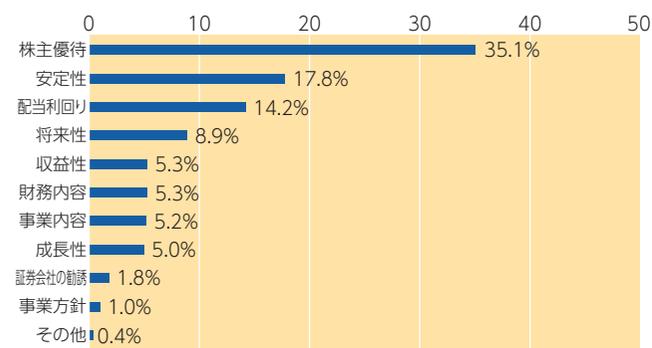
### 第30回株主アンケート結果

2014年6月に実施させていただきました「第30回キムラユニティからのアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。1,606名の方からご返送いただき、回答率は14.4%となりました。大変多くの株主の皆様にご回答いただき、厚く御礼申し上げますとともに、ここにアンケート結果の一部を報告させていただきます。

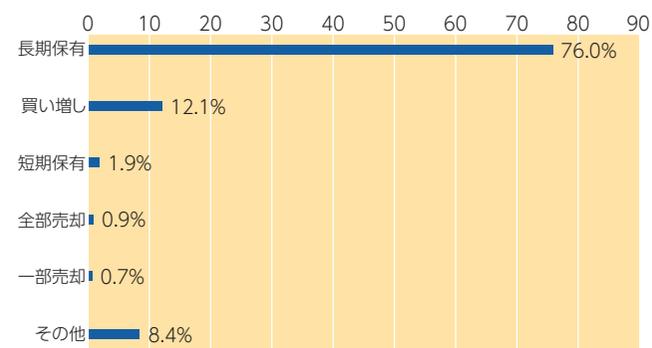
#### ■ご回答いただいた株主様の状況



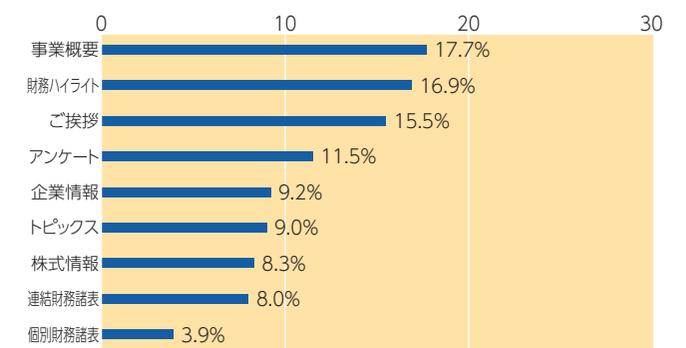
#### ■当社株式購入理由（複数回答）



#### ■当社株式保有方針（複数回答）



#### ■興味を引かれた内容（複数回答）



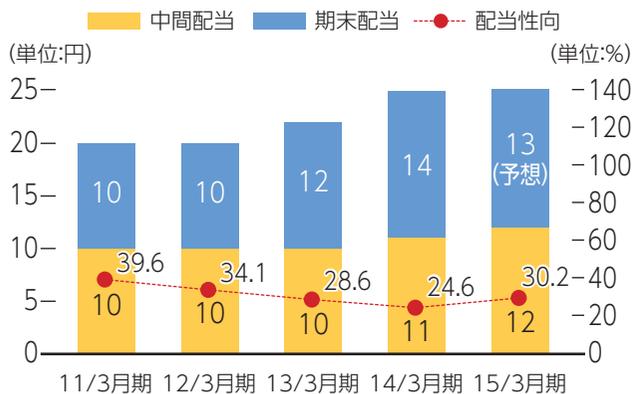
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	12,070,000 株
株主総数	12,299 名

### 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
木村株式会社	3,025	25.0
豊田通商株式会社	1,000	8.2
絲丹株式会社	388	3.2
東京海上日動火災保険株式会社	384	3.1
木村幸夫	356	2.9
木村昭二	342	2.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	330	2.7
株式会社みずほ銀行	330	2.7
三井住友海上火災保険株式会社	286	2.3
キムラユニティー社員持株会	266	2.2

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

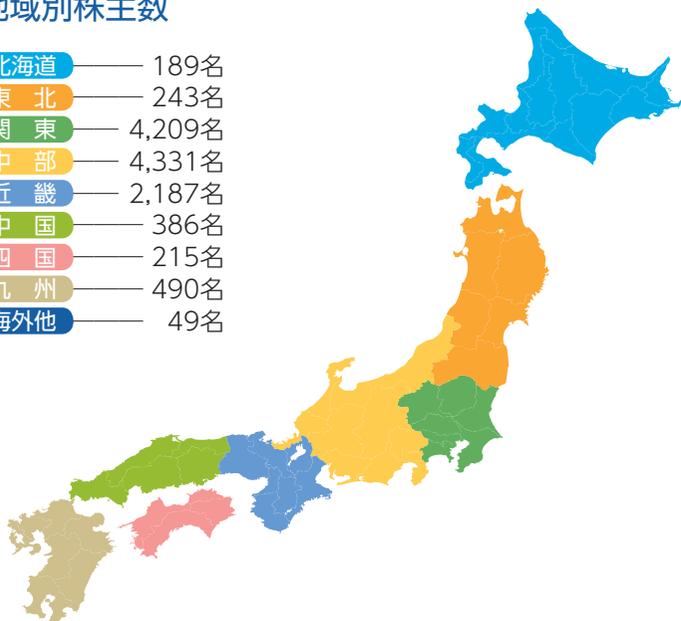
### 配当金の推移



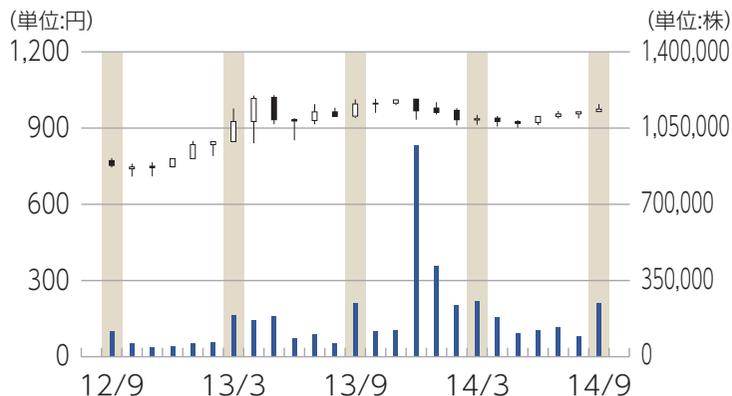
### 株式の分布状況

#### 地域別株主数

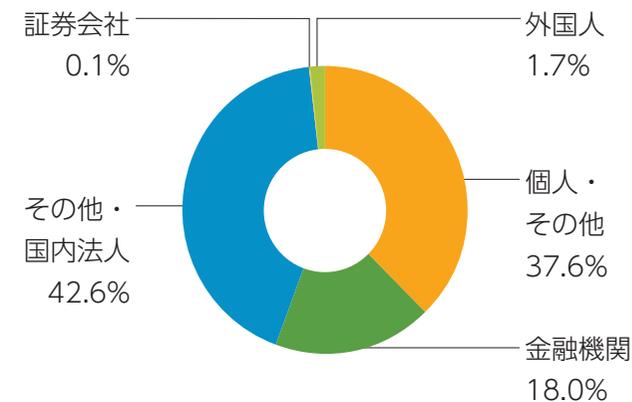
- 北海道 189名
- 東北 243名
- 関東 4,209名
- 中部 4,331名
- 近畿 2,187名
- 中国 386名
- 四国 215名
- 九州 490名
- 海外他 49名



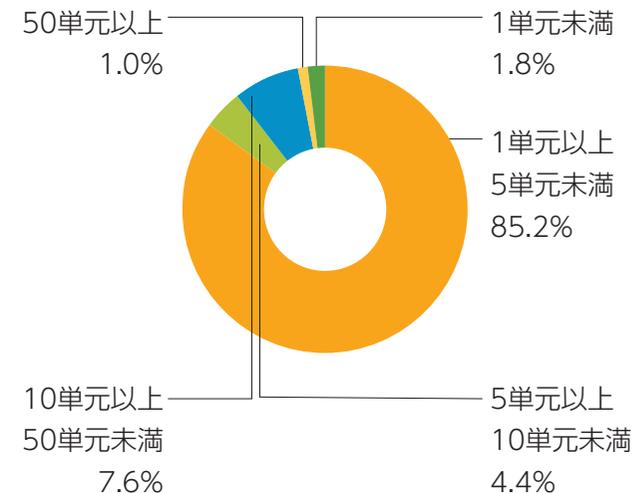
### 株価グラフ



### 所有者別株式数割合



### 所有数別株主数割合



## 会社概要 (2014年9月30日現在)

商号	キムラユニティー株式会社 KIMURA UNITY CO., LTD.
本店	愛知県名古屋市中区錦三丁目8番32号
設立年月日	1973年10月1日
資本金	35億8,035万円
従業員数	2,490名

## 主な取引先

### 【販売先】

- ◎トヨタ自動車株式会社
- ◎パナソニック株式会社
- ◎豊田通商株式会社
- ◎コクヨサプライロジスティクス株式会社
- ◎株式会社スズケン
- ◎楽天株式会社
- ◎TOTO株式会社

### 【仕入先】

- ◎阪和興業株式会社
- ◎株式会社ユーネットランス
- ◎トヨタ部品愛知共販株式会社
- ◎東京海上日動火災保険株式会社
- ◎ブリヂストンタイヤジャパン株式会社

## 役員一覧 (2014年9月30日現在)

### 取締役

役職	名前	担当
代表取締役社長	木村 幸夫	
代表取締役副社長	木村 昭二	営業機能担当、北米・中南米・豪亜地域担当、KIMURA, INC. CEO兼会長
代表取締役専務	千賀 信次	企画・管理・人財育成機能担当、人材サービス事業担当、企業年金基金理事長
専務取締役	齊藤 延仁	生産・調達・安全・品質機能担当、中国地域担当、情報サービス事業担当、IS事業部担当、SQ推進本部長、 天津木村進和物流有限公司・広州広汽木村進和倉庫有限公司董事長
常務取締役	加藤 明	自動車サービス事業担当、TCS事業本部長、カスタマーサービスセンター・TCS業務部・TCS総括部担当、株式会社スーパージャンボ代表取締役社長
取締役	中根 新一	物流サービス事業担当、LS事業本部長、NLS事業部長、LS総括部担当
取締役	小山 幸弘	管理本部長、経理部・経営企画部担当
社外取締役	平井 鉄郎	

※ IS : インフォメーションサービス      LS : ロジスティクスサービス  
 SQ : セーフティ&クオリティ (安全品質)      NLS : ニューロジスティクスサービス  
 TCS : トータルカーサービス

### 監査役

役職	名前
常勤監査役	中山 之義
社外監査役	堀口 久
社外監査役	服部 正秋
社外監査役	小野田 誓

当社では、「経営戦略の意思決定の迅速化と監督体制の強化及び業務執行の強靱化」を目的として、執行役員制度を導入しております。

環境対応、コンプライアンス(法令遵守)やコーポレートガバナンス(企業統治)の強化など、CSR(企業の社会的責任)が強く求められている今日、内部統制制度(J-SOX)の適切な運用を通して、経営管理体制の強化を推進してまいります。

国内・海外の拠点 (2014年9月30日現在)

国内拠点

稲沢地区

- 稲沢営業所・工場
- オートプラザラビット 稲沢本店
- (株)スーパージャンボ 稲沢店 in オートプラザラビット (2014年4月開設)
- 春日事業所
- 愛西事業所

名港地区

- 名港営業所・工場
- 飛島事業所

名古屋地区

- 本社営業所・錦工場
- 志賀営業所
- 名古屋北営業所
- オートプラザラビット 名古屋北店
- ビジネスピープル(株)
- (株)スーパージャンボ
- 守山事業所

東三河地区

- 豊橋事業所

静岡地区

- 湖西事業所

岐阜地区

- 多治見事業所

犬山地区

- 犬山営業所・工場
- 大口事業所
- 春日井事業所

西三河地区

- 豊田営業所・工場
- 刈谷営業所・工場
- 上丘物流倉庫
- 高岡物流センター
- 上郷事業所
- 元町工場
- 堤工場

関西地区

- 西日本営業所
- 大阪事業所
- 阪神事業所

九州地区

- 福岡事業所

関東地区

- 東京支店
- 千葉事業所
- 久喜物流センター
- 伊奈平事業所
- 市川事業所
- 八千代事業所
- 千葉美浜事業所 (2014年4月開設)
- 川崎事業所 (2014年5月開設)

● 自社拠点 ● トヨタ自動車殿内拠点  
● その他顧客内拠点

海外拠点

中国天津

89.7%出資合弁会社  
(2005年1月設立)  
倉庫保管業・包装作業など物流サービスを展開

中国広州

74.1%出資合弁会社  
(2005年11月設立)  
倉庫保管業・包装作業など物流サービスを展開

タイ

23%出資合弁会社  
(2002年12月設立)  
ミルクラン・MSP梱包・VtoV梱包を中心に展開

- 天津木村進和物流有限公司
- 広州広汽木村進和倉庫有限公司
- 広州広汽木村物流器材有限公司
- TTK Logistics (Thailand) Co., Ltd.
- TTK Asia Transport (Thailand) Co., Ltd.

- KIMURA, INC.
- TK Logistica de México S. de R.L. de C.V.

アメリカ

100%出資会社  
(2002年5月設立)  
格納器具製品事業を中心に物流サービスを展開

メキシコ

49%出資合弁会社  
(2004年5月設立)  
工場構内物流事業を中心に展開

ブラジル

49%出資合弁会社  
(2001年11月設立)  
ミルクラン・中継物流・CKD梱包を中心に展開

- TK Logistica do Brasil Ltda.

● 連結子会社 ● 持分法適用関連会社

連結財務ハイライト

キムラ工業の事業概要

トピックス

特集

連結財務諸表

株主アンケートについて

株式情報

企業情報

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催期	6月
株主確定基準日	(1) 定時株主総会 3月31日 (2) 期末配当 3月31日 (3) 中間配当 9月30日
公告掲載URL	http://www.kimura-unity.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
証券コード	9368
URL	http://www.kimura-unity.co.jp/

## お知らせ

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
尚、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。  
尚、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。  
\*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

## 株主優待制度

回数 年2回  
対象 毎年3月31日現在及び9月30日現在の  
100株以上保有する株主様



所有株式数	保有年数	優待内容		
		基本	長期優遇	合計
100株以上 500株未満	設定なし	お米券 2kg		お米券 2kg
500株以上 1,000株未満	2年未満	お米券 3kg		お米券 3kg
	2年以上	お米券 3kg	お米券 2kg	お米券 5kg
1,000株以上	2年未満	お米券 5kg		お米券 5kg
	2年以上	お米券 5kg	お米券 2kg	お米券 7kg

長期優遇とは、中間期末日及び期末日の株主名簿に同一株主番号で連続5回以上記載または記録されることを言います。

 **キムラユニティ株式会社**

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目8番32号  
TEL/052-962-7051 (代)

 見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



この印刷物はベジタブルインクとFSC認証紙を使用しています。

